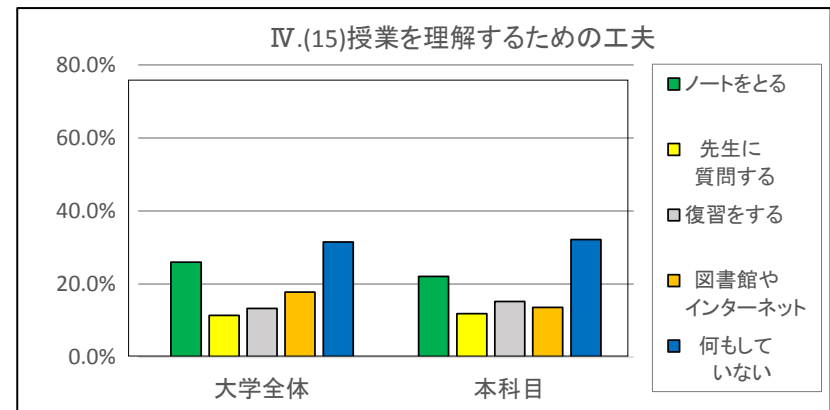


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15)授業を理解するための工夫	22.0%	11.9%	15.3%	13.6%	32.2%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.36	3.45
	I.(2)	3.39	3.56
	I.(3)	3.14	3.07
講義内容・方法	II.(4)	2.90	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.00	3.33
	II.(8)	3.19	3.42
	II.(9)	3.08	3.30
	II.(10)	2.86	3.23
	II.(11)	3.20	3.21
	II.(12)	3.36	3.48
	II.(13)	3.17	3.45
満足度	II.(14)	3.15	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.29	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.10	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.15	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	12104
科目名	社会の理解
教員名	山田 均

①授業計画の達成度について

第1回目の講義時に学修計画や授業の進め方、授業時間外での課題等について説明した。テキストとして小学校学習指導要領解説社会編と小学校で使用している教科書を採用し、どのような学習内容を小学校で指導しているのか、また、なぜそのような学習を行うのかといった小学校社会科の目的や意義、そして内容について学習を進めていった。実際の生活につながる社会的な事象が学習対象となっており、小学生にとっても自分たちの生活と深い関わりがあるということを踏まえて学習することの重要性について説明した。そのこともあり、教科書の内容から実際の社会の動向等について話題を広げていったが、そのような学習に対して戸惑いをもつ学生がかなりいた。主権者意識を涵養することの重要性を鑑み、自分事として社会を見る目をより一層育てる授業の実現を目指していきたい。

②授業の進め方について

学生たちは概ね受講意欲やマナー、授業時間外の学習活動についてはできているという自己評価の結果がある。しかし、学修内容について難易度が高いと捉えている学生がかなり存在している。そのため、説明のわかりやすさ講義の聞き取りやすさについて評価が低くなっている。そこで、今年度も取り入れた授業外での課題や教科書の単元についてのプレゼンテーション、大学図書館を活用しての歴史人物新聞づくり、小グループでの話し合い活動等多様な学習活動を充実させ、学生が主体的に学修に迎えるよう配慮していきたい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

小学校で学習する社会科の目標や内容を理解することにとどまらず、学生自身が主権者としての意識が涵養できるよう学修を進めること念頭に置き、小学校社会科の学習内容をきっかけとして社会的な事象について課題意識を持ち、考え、自分自身の問題として考えることができるように学修を進めることができるようしていきたい。そのために、多様な表現活動に取り組んだり、社会的な事象の理解を図るような課題を設定し、小グループでの話し合い活動を取り入れたい。